

第3回国際会議等の北海道開催の推進に係る各省庁連絡会議 議事概要

1. 日 時：平成21年7月13日（月）14:00～14:40
2. 場 所：中央合同庁舎3号館8階国際会議室
3. 出 席：[省庁] 内閣官房、内閣府、公正取引委員会、金融庁、総務省、法務省、
外務省、財務省、文部科学省、厚生労働省、農林水産省、経済産業
省、環境省、人事院
[北海道] 高原副知事、高田知事政策部知事室次長
[国土交通省北海道局] 奥平北海道局長、佐藤参事官、橋本計画推進企
画官、小田桐開発専門官

4. 議事次第

- (1) 開会
- (2) 議事
 - 1) 向こう5年間の国際会議等の開催計画等について
 - 2) 北海道における国際会議開催の状況及び北海道の取組みについて
 - 3) その他
- (3) 閉会

5. 議事及び主な発言内容

- 1) 向こう5年間の国際会議等の開催計画等について
資料2-1、2-2、2-3について事務局より説明。
- 2) 北海道における国際会議開催の状況及び北海道の取組みについて
資料3に基づき北海道より説明。

- ・国際会議等を開催するに当たり、北海道の優位性は（1）充実した交通アクセス、（2）自然豊かな環境の中で、ソフト・ハード両面で充実した、個性豊かなおもてなしを提供できる施設を数多く有している、（3）雄大な自然と冷涼な気候、（4）安心・安全な食、（5）日本特有の体験として東アジア諸国などの多くの外国人観光客に楽しまれている全道各地の温泉、が挙げられる。
- ・北海道で国際会議等を開催するための受入体制について、来年開催予定の「APEC貿易担当大臣会合」の場合では、道庁内に「APEC貿易担当大臣会合推進局」を設置、また地元札幌市や経済界、産業界が一体となって21の国と地域の方々を迎えるため、知事をトップとする「APEC貿易担当大臣会合北海道・札幌実行委員会」を設立。
- ・国際会議等の歓迎セレモニーについて、「太平洋・島サミット」の場合では、5月下旬にもかかわらず、冬から貯蔵しておいた雪を利用して2mの大雪だるまを作り、ホテル玄関前に設置。また、アイヌや「YOSAKOIソーラン」の踊りなど、北海道の歴史と文化にふれられる催しを実施。
- ・道内の主要都市には、国際会議の開催をサポートするコンベンションビューローがあり、ボランティア通訳の派遣、配偶者プログラムの企画、実施等、様々な支援プログラムで国際会議の開催をサポートしている。

3) その他

今後の予定等について事務局より説明。

- ・開催地未定の国際会議の情報を北海道局に提供してもらいたい。

以 上
(速報のため、事後修正の可能性があります。)